

公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 696)	「位置的頭蓋変形症に対するヘルメット形状誘導治療」に関する研究
当院の研究 責任者(所属)	田尻 征治 (脳神経外科)
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	<p>乳児の頭蓋変形の原因には、病的な「頭蓋縫合早期癒合症」と非病的な「位置的頭蓋変形症」があります。</p> <p>「位置的頭蓋変形症」は、乳児の寝向きや向き癖などで、頭蓋骨の形状が変化して起こります。軽症例では、定額や発達に伴って改善しますが、中等度以上では就眠時の向き癖が治らずに平坦部に持続的な頭部の自重がかかるために、頭蓋の変形が増悪、固定化すると考えられています。変形が固定化する前の至適時期に頭蓋形状誘導ヘルメットによる治療を開始することで、頭蓋の変形を軽減、改善することができます。当院では 2023 年 10 月から毎月第 2、第 4 火曜日に「頭の形外来」を開始し、多くの患者にヘルメット治療を行いました。これまでのヘルメット治療の成績を振り返り、今後の課題や展望を検討します。</p>
調査データ 該当期間	2022 年 10 月～2024 年 12 月までに当院の「頭の形外来」を受診した症例の中で、形状の測定を行った症例を対象とします。
研究の方法	診療録や頭部形状測定データより対象となる患者さんの情報を得ます。
個人情報の 取扱い	利用する情報に氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報を含みません。研究成果を学会や論文投稿にて発表する場合にも、個人を特定できる情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連する開示すべき利益相反はありません。

お問い合わせ先	脳神経外科 田尻 征治 電話 : 096-365-1711
備 考	なし